

津波・震災

Tsunami/Earthquake

釜石を含む三陸地方は、これまで幾度となく津波に襲われましたが、その都度復興を遂げてきました。このコーナーでは、東日本大震災を始めとする過去の津波の教訓を貴重な資料で後世に伝えます。



東日本大震災直後の
釜石市大町付近
(2011年)

大型モニターによる
復興のおよみの紹介



タッチパネルで被災前・被災後の航空写真や事業計画図が自由に閲覧可能



釜石は、かつては小さな一漁村に過ぎませんでした。しかし、1857(安政4)年に大島高任が日本で初めて、洋式高炉を用いた鉄の連続出鉄に成功すると、その後の製鉄業の発展とともに「鉄と魚のまち」として大きく繁栄を遂げました。

また、釜石は、これまで幾度となく来襲した津波や、第二次世界大戦末期の艦砲射撃による被害を、不撓不屈の精神で乗り越えてきました。

この資料館では、様々な資料を通して釜石の歴史と文化を垣間見ることができます。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。

ご利用案内

- 【開館時間】 9時30分～16時30分 (最終入館16時)
- 【休館日】 毎週火曜日・年末年始 (12/28～1/4)
- 【入館料】 大人200円/団体100円
高校生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料

アクセス

JR・三陸鉄道釜石駅より徒歩5分

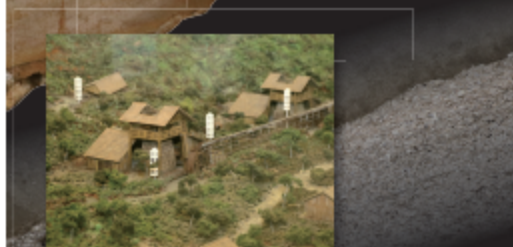
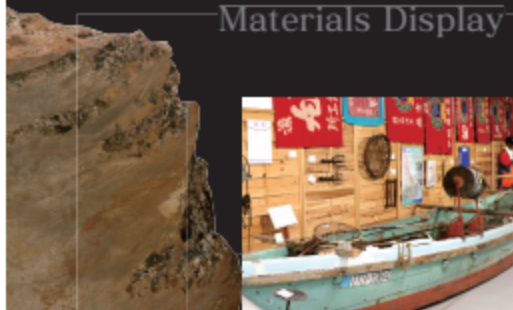


釜石市郷土資料館

〒026-0031 岩手県釜石市鈴子町15-2 TEL 0193-22-2046
HP : <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/mobile/kyoudo>
E-mail : k-kyoudo-s@s6.dion.ne.jp

釜石市郷土資料館

The Kamaishi Historical
Materials Display



戦災

Wartime

かつて釜石は、東北で唯一、製鉄所を持つ軍需都市でした。第二次世界大戦末期には、本州で初めて二度にわたる艦砲射撃を受けています。



艦砲射撃で撃ち

込まれた16インチ砲弾



艦砲射撃により被災した市街地

製鉄

Ironmaking

釜石では、古くから製鉄が行われていましたが、洋式高炉を用いた近代製鉄への転換は街の発展に大きな影響を与えました。高炉周辺を再現したジオラマにより、橋野高炉の稼働当時の様子をうかがい知ることができます。



餅鉄



重さ約2tの炉底塊



橋野高炉(模型 1/100)

自然

Nature

釜石の地形や地質、多様な動植物など、地域の自然を知ることができます。



国の天然記念物 オオワシ

釜石市郷土資料館は釜石の歴史と文化を語り継いでいくために設置されました。資料のほとんどは市民からの寄贈によるもので、いわば市民手作りの資料館です。

館内ガイド



入口
Entrance

企画展示室 Special Exhibition

様々なテーマで企画展を開催するコーナーです。



民俗

Folk Culture

先人の知恵や工夫が溢れる浜・里・山の暮らしにまつわる民俗資料を展示しています。



郷土芸能

釜石の多彩な郷土芸能を映像で楽しむ事ができます。

いろりコーナー

かつて使われていた道具が置いてあり、昔の暮らしを伝えます。釜石の民話を語り伝える「漁火の会」による民話を語る会も行われます。(不定期開催)



歴史・考古

History/Archaeology

釜石には、およそ320もの遺跡があり、多種多様な土器や石器などが発見されています。



屋座石(レプリカ)



屋形遺跡から発掘された貝塚の一部